

正法寺川清流ルネッサンス

目標 (H14 H30)

年間を通じて多様な水生生物が生息でき、川沿いで散歩を快適に楽しむことができる水質を目指す。

平成14年
BOD10mg/l程度

平成30年
BOD5mg/l以下

整備を行わない場合

家庭排水が浄化されないまま、正法寺川に流れ込むため、汚れが川底に溜まりやすくなり、ますます水質が悪くなる恐れがあります。



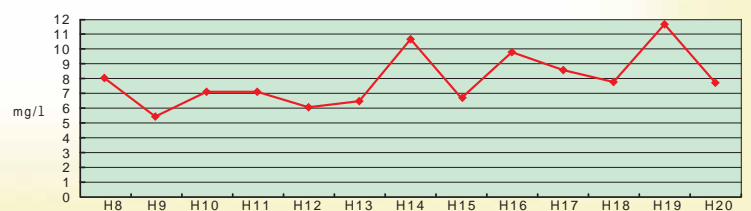
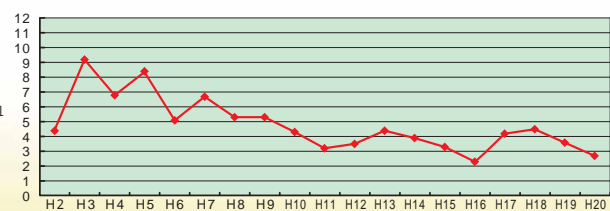
直接浄化施設により浄化される前の水



底泥を取り除いていない区間

水質の状況

正法寺川の下流側と上流側では、水質の改善状況に違いが見られます。水質改善効果の高い下水道整備に加え、河川内の浄化対策を行うことで、さらなる水質の改善に努めます。



清流ルネッサンス

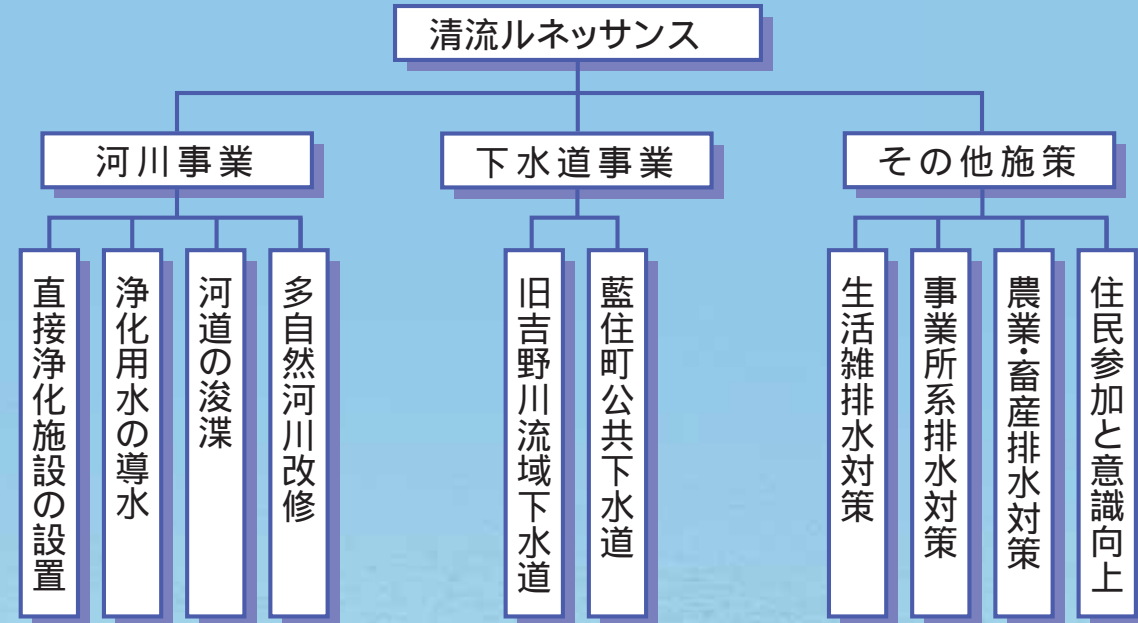
清流ルネッサンスとは?

清流ルネッサンスとは、水質汚濁の著しい河川・湖沼・ダム貯水池等の水質改善を図るため、行政と地域住民が一体となって策定する水環境改善計画です。

全国34箇所の計画対象河川の1つに正法寺川が選定され、吉野川水系正法寺川水環境改善緊急行動計画(清流ルネッサンス)が平成16年3月に策定されました。



正法寺川清流ルネッサンス 協議会



お問い合わせ先

徳島県県土整備部河川局河川整備課
〒770-8570 徳島市万代町 1-1
TEL / 088-621-2572

徳島県東部県土整備局徳島庁舎
〒770-0865 徳島市南末広町 6-36
TEL / 088-653-8947

正法寺川清流ルネッサンス

生活排水などで、汚れてしまった正法寺川。美しい川をとり戻すため、いろいろな事業や活動が進んでいます。

みんなで取り戻そう。美しい正法寺川。



行政が行っていること



直接浄化施設
汚れた川の水を取水し、微生物の力で汚れを取り除き、きれいにして川に戻します。



浚渫
川底にたまった泥を吸い上げて、取り除きます。



導水施設
水量が多いときには、旧吉野川の水をポンプでくみ上げ、正法寺川に流します。

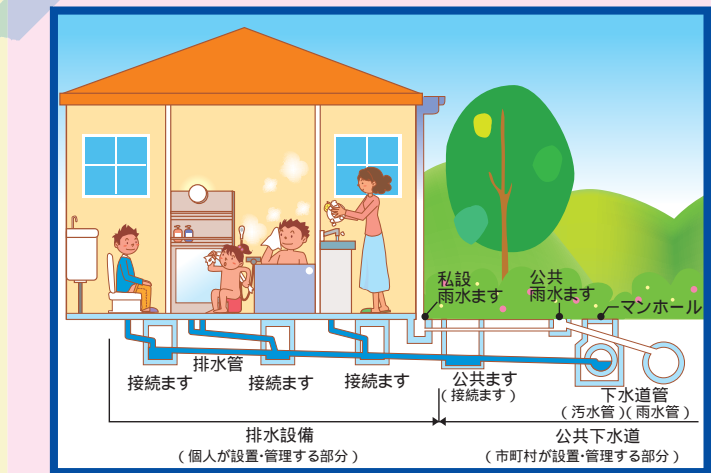
導水量0.2m³/s(主に夏場)



多自然川づくり
水辺に生育する植物の力をかりて水をきれいにします。沈めた石のすき間には小魚がかくれます。

排水設備
排水設備は下水処理場への重要な出発点です。下水道の効果を発揮するためには公共下水道管への接続が必要です。

下水道整備
下水道を整備して、川に流れ込む汚れを少なくします。

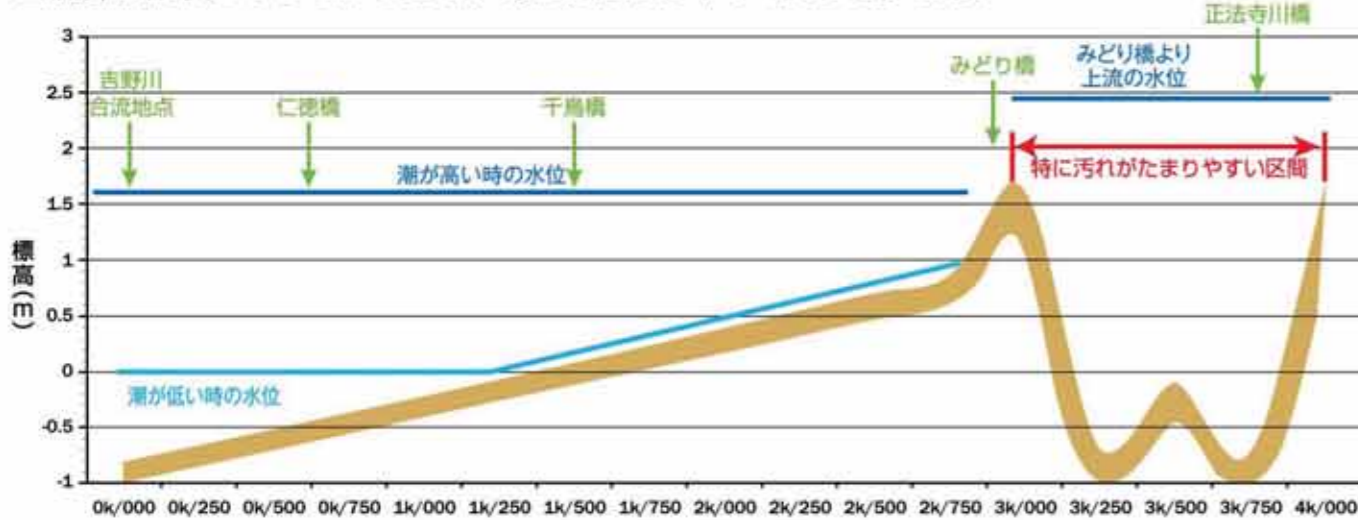


- 旧吉野川流域下水道事業 (終末処理場と幹線下水管を県が整備)
- 藍住町公共下水道事業 (幹線につなぐ下水管を藍住町が整備)
- 各家庭では、下水管につなぐ排水設備の設置をお願いします。



正法寺川の特徴

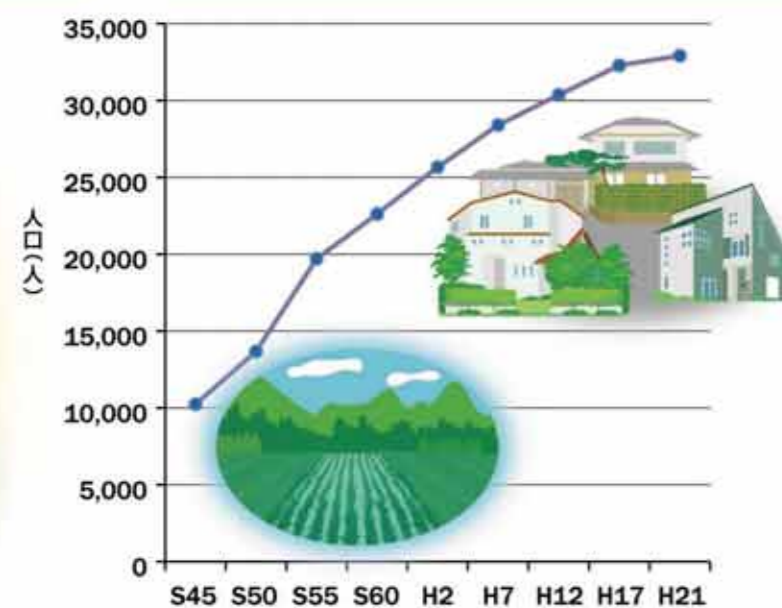
平野部を流れる勾配が緩やかな河川です。上流部が池状になっているので、汚れがたまりやすくなっています。



正法寺川河床高



正法寺川は水質が悪化しやすい河川です!



藍住町人口の推移

正法寺川マップ

川底の泥には、エラミミズ・ユリミミズといったイトミミズが生息しています。また、石積岸には、スクミリンゴガイ・ヒメタニシ・サカマキガイが付着しています。

■ 棧橋の遊歩道
木製棧橋から川の様子を間近に見ることができます。

原橋上流

○在来種	コイ フナ属 オイカワ モツゴ トウヨシノボリ橋鱈型 コウライニゴイ
○外来種	タイリクバラタナゴ ハス ブルーギル カムルチー

河畔林

ゴイサギ ダイサギ コサギ アオサギ チョウゲンボウ キジバト	カワセミ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ	ジョウビタキ ツグミ ウグイス メジロ ホオジロ アオジ	カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス
--	--	---	--

正法寺川橋付近

◀ 藍住北小学校による調査写真
正法寺川橋付近(モクスカニ)

■ みどり橋
全長60mの木製アーチ橋は西日本一の大きさであり、正法寺川公園のシンボルになっています。

川底の泥には、エラミミズ・ユリミミズといったイトミミズが生息しています。また、水際の植物周辺では、ヒメタニシ・スジエビ・ミソシヌマエビ・シオカラトンボ等が生息しています。

水面

カイツブリ カワウ マガモ カルガモ コガモ	ヨシガモ オカヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシロガモ	ヒクイナ バン オオバン
------------------------------------	---	--------------------

■ 水際の遊歩道
木製チップを使った柔らかくて歩きやすい遊歩道です。

正法寺川橋付近

◀ 藍住北小学校による調査写真
正法寺川橋付近(フナ属)

正法寺川環境情報図

平成15年8月～平成16年1月にかけて行った正法寺川に生息する底生動物・魚介類・鳥類に関する調査結果、日本野鳥の会徳島県支部及び徳島県立博物館の助言に基づき作成しました。

新富吉橋上流

○在来種	コイ フナ属 オイカワ モツゴ ナマズ メダカ トウヨシノボリ橋鱈型 コウライニゴイ
○外来種	タイリクバラタナゴ

上空

ミサゴ トビ オオタカ ハイタカ ハヤブサ ツバメ
--

浄化施設

コガモ 水面上で採餌
ハヤブサ 鉄塔上で休息

水際の遊歩道

ゴイサギ ねぐら(冬季)
カワセミ 採餌場所として利用

本村川

○在来種	ウナギ コイ フナ属 ヤリタナゴ オイカワ モツゴ タモロコ コウライモロコ
○外来種	コウライニゴイ タイリクバラタナゴ ビワヒガイ
○不明	イチモンジタナゴ カネヒラ

▲ 藍住北小学校による調査写真
本村川付近

水際の植物周辺では、モノアラガイ・ミズムシ・スジエビ・アメリカザリガニ・モクズガニ・コフキトンボ・ウスバキトンボ等が生息しています。

地域のみなさんによる取り組み

アドプト・プログラム吉野川

正法寺川を子どもに見立て、その一定区間と流域の企業や住民グループが養子縁組(アドプト)を行う制度です。正法寺川では、藍住中学校と正法寺川を考える会がアドプト・プログラムに参加し、河川清掃に取り組んでいます。正法寺川の downstream から上流まで、アドプトの輪を広げられるように、みなさんの協力をお待ちしています。



正法寺川を考える会

平成9年に発足した正法寺川を考える会によって、毎月の河川清掃が実施されています。また、水質調査やエコウォッチングといった環境学習の取り組みも行われています。

